



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月7日

上場会社名 株式会社モスフードサービス

上場取引所 東

コード番号 8153 URL http://www.mos.co.jp

代表者 (役職名) 取締役会長 兼 取締役社長 (氏名) 櫻田 厚

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営サポート本部長 (氏名) 福島 竜平 TEL 03-5487-7371

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	16,369	3.7	114	△27.2	170	△14.1	118	-
27年3月期第1四半期	15,785	2.0	157	△10.2	198	△28.3	△58	-

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 7百万円 (-%) 27年3月期第1四半期 △107百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	3.83	-
27年3月期第1四半期	△1.89	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	55,047	42,041	76.2
27年3月期	55,301	42,376	76.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 41,964百万円 27年3月期 42,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	11.00	-	11.00	22.00
28年3月期	-	-	-	-	-
28年3月期(予想)	-	11.00	-	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,500	3.3	650	△1.4	550	△21.7	150	△45.3	4.87
通期	67,500	1.8	1,900	22.2	1,850	21.4	800	18.9	25.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	32,009,910株	27年3月期	32,009,910株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,182,384株	27年3月期	1,182,311株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	30,827,573株	27年3月期1Q	30,828,364株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢を背景に緩やかな回復基調が続いておりますが、消費の基盤となる個人所得の水準は小幅な改善に留まるなど、引き続き楽観視できない状況で推移しました。

特に外食業界においては、原材料費の高騰、円安の進行による調達費用の上昇、物流費の高騰など以前にも増して、厳しい経営環境が続いております。

こうした中、当社グループは、「人間貢献・社会貢献」の経営理念のもと、「食を通じて人を幸せにすること」という企業目標の達成に向け、商品開発、店作り、サービスの一層の充実によるチェーン基盤の強化と、当社グループならではの独自性の確立を重点施策として取り組んでまいりました。これらの結果、当第1四半期の連結経営成績につきましては、売上高は163億69百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益1億14百万円（同27.2%減）、経常利益1億70百万円（同14.1%減）となり、最終損益は固定資産売却益22百万円、投資有価証券売却益57百万円、固定資産除却損31百万円、減損損失13百万円、投資有価証券評価損29百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益1億18百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失58百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<モスバーガー事業>

当社グループの基幹事業であるモスバーガー事業では、主として以下の施策を展開しました。

①お客さまニーズへの対応

定番商品8品目において、牛肉100%を使用したお肉のパティと大豆由来の植物性たんぱくを使用したソイパティとをお客さまご自身が選択出来るようにいたしました。これは、より健康感のある食事がしたい、カロリーをあまり摂りたくない、など多様化するニーズに応えるものです。今後、ソースや野菜など具材の増減への対応についても研究を進めてまいります。

②朝食マーケットの更なる開拓

この5月より新「モスのモーニングバーガー」3品投入のほか、「モスの朝御膳」のリニューアル、「スープセット」の投入など朝食専用メニューの刷新をいたしました。「朝＝モス」と認知をいただけるよう、個店における告知活動に加え、TVCMなどマス広告も展開してまいります。

③モスのネット注文の強化

ご指定の時間で商品の受け取りが可能な「モスのネット注文」の会員数は順調に増え、当第1四半期末には8万人超となりました。目標のお電話注文との合計注文比率10%に向け、モスカードとの連動、専用商品の投入など、さらなるサービスの拡充を図ることで会員の獲得、利用頻度の向上を目指します。

④農業生産法人・協力農家との連動

この4月、当社として5例目、6例目となる農業生産法人「モスファームマルミツ（熊本県八代市）」、「モスファーム信州（長野県小諸市）」を設立いたしました。これら自社系農場を増やすことで、品質の高い生鮮野菜の安定供給のほか、モス規格品以外の外販など新たなチャネルの開拓も行ってまいります。

なお、5月19日より、原材料費の高騰、円安の進行による調達費用の上昇などを主要因に価格の改定を行いました。上記施策を含め商品、サービスなど更なる磨き上げを行い、価格以上の価値を感じてご利用いただけるよう取り組んでおります。

国内モスバーガー事業の店舗数につきましては、堅実な成長に向け、当第1四半期連結累計期間においては出店3店舗に対し閉店は12店舗で、当第1四半期末の店舗数は1,396店舗（前連結会計年度末比9店舗減）となりました。

海外モスバーガー事業の店舗数につきましては、台湾240店舗（前連結会計年度末比2店舗増）、シンガポール28店舗（同増減なし）、香港14店舗（同1店舗増）、タイ6店舗（同増減なし）、インドネシア2店舗（同増減なし）、中国（福建省・江蘇省・上海市・広東省）20店舗（同3店舗減）、オーストラリア5店舗（同増減なし）、韓国8店舗（同2店舗減）となり、海外全体の当第1四半期末店舗数は323店舗（同2店舗減）となりました。

これらの施策により、モスバーガー事業の売上高は153億7百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益7億17百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

<その他飲食事業>

各業態の当第1四半期末店舗数は、マザーリーフ業態合計で34店舗（前連結会計年度末比1店舗増）、「自由が丘 あえんおそうざい」事業2店舗（同増減なし）、株式会社ダスキンとのコラボレーションショップ「モスド」事業1店舗（同増減なし）、「四季の旬菜料理あえん」事業6店舗（同増減なし）、「シェフズブイ」および「グリーングリル」事業は合計で3店舗（同増減なし）です。なお、「モスコ」事業においては、グループ内の選択と集中を進める中、撤退を行いました。その他飲食店事業の合計店舗数は、46店舗（同増減なし）です。

これらによる、その他飲食事業の売上高は8億89百万円（前年同四半期比7.4%増）、営業損失は1億15百万円（前年同四半期比52百万円の損失増）となりました。

<その他の事業>

連結子会社の株式会社エム・エイチ・エスおよび株式会社モスクレジットは、おもにモスバーガー事業やその他飲食事業を、衛生、金融、保険、設備レンタル面で支援しております。

これらによる、その他の事業の売上高は1億72百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益は28百万円（前年同四半期比9.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の553億1百万円から2億53百万円減少し、550億47百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から5億8百万円増加し、固定資産は7億61百万円減少しております。流動資産が増加した主な理由は、法人税等及び配当金の支払いにより現金預金が減少した一方で、クリスマス商戦に係る在庫の積み増しにより商品が増加したためおよび一年以内償還予定債権の増加により有価証券が増加したためであります。固定資産が減少した主な理由は、株式の売却により投資有価証券が減少したためであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ81百万円増加しております。この増加の主な理由は、納税により未払法人税等が減少した一方で、夏季賞与資金に係る短期借入金が増加したためであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ3億34百万円減少し、自己資本比率は前連結会計年度末76.5%から当第1四半期連結会計期間末は76.2%と0.3%減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月11日発表の通期連結業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,789,082	6,166,239
受取手形及び売掛金	4,055,198	3,784,854
有価証券	2,900,177	3,456,919
商品及び製品	2,796,567	3,875,218
原材料及び貯蔵品	325,451	475,928
繰延税金資産	277,917	301,527
その他	823,782	1,415,935
貸倒引当金	△18,874	△19,258
流動資産合計	18,949,303	19,457,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,060,185	10,050,834
減価償却累計額	△5,871,403	△5,910,661
建物及び構築物（純額）	4,188,782	4,140,173
機械装置及び運搬具	292,768	297,640
減価償却累計額	△174,912	△184,770
機械装置及び運搬具（純額）	117,856	112,870
工具、器具及び備品	8,425,393	8,430,892
減価償却累計額	△4,642,465	△4,830,705
工具、器具及び備品（純額）	3,782,928	3,600,187
土地	1,460,785	1,464,058
建設仮勘定	66,328	29,953
有形固定資産合計	9,616,680	9,347,242
無形固定資産		
その他	1,288,112	1,195,383
無形固定資産合計	1,288,112	1,195,383
投資その他の資産		
投資有価証券	15,591,958	15,083,569
長期貸付金	1,460,663	1,396,817
差入保証金	5,281,114	5,284,364
繰延税金資産	95,088	85,183
その他	3,133,747	3,306,503
貸倒引当金	△103,335	△99,192
投資損失引当金	△12,200	△9,500
投資その他の資産合計	25,447,037	25,047,745
固定資産合計	36,351,830	35,590,371
資産合計	55,301,134	55,047,736

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,197,981	4,643,550
短期借入金	701,855	1,364,125
未払法人税等	349,258	107,386
賞与引当金	397,362	205,325
ポイント引当金	35,030	38,153
繰延税金負債	777	775
資産除去債務	13,490	17,631
その他	4,295,115	3,739,702
流動負債合計	9,990,870	10,116,650
固定負債		
長期借入金	16,849	-
繰延税金負債	324,328	285,834
退職給付に係る負債	326,009	305,634
資産除去債務	246,345	241,440
その他	2,020,252	2,056,595
固定負債合計	2,933,785	2,889,504
負債合計	12,924,655	13,006,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,412,845	11,412,845
資本剰余金	11,100,543	11,100,543
利益剰余金	19,774,264	19,549,825
自己株式	△1,611,506	△1,611,676
株主資本合計	40,676,145	40,451,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,076,961	964,075
為替換算調整勘定	599,612	592,726
退職給付に係る調整累計額	△57,122	△43,353
その他の包括利益累計額合計	1,619,451	1,513,448
非支配株主持分	80,881	76,594
純資産合計	42,376,478	42,041,581
負債純資産合計	55,301,134	55,047,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	15,785,721	16,369,677
売上原価	8,056,582	8,410,271
売上総利益	7,729,138	7,959,406
販売費及び一般管理費	7,571,330	7,844,577
営業利益	157,807	114,829
営業外収益		
受取利息	14,723	18,526
受取配当金	31,200	32,310
持分法による投資利益	-	1,125
設備賃貸料	217,472	165,255
雑収入	51,576	46,962
営業外収益合計	314,973	264,181
営業外費用		
支払利息	5,277	7,328
設備賃貸費用	238,601	169,411
持分法による投資損失	7,511	-
雑支出	22,430	31,286
営業外費用合計	273,821	208,027
経常利益	198,960	170,983
特別利益		
固定資産売却益	20,576	22,571
投資有価証券売却益	-	57,303
投資損失引当金戻入額	-	2,700
特別利益合計	20,576	82,574
特別損失		
固定資産売却損	-	42
固定資産除却損	36,831	31,060
減損損失	24,371	13,914
投資有価証券評価損	-	29,700
投資損失引当金繰入額	6,400	-
関係会社整理損	811	-
火災損失	236,265	-
特別損失合計	304,679	74,718
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△85,142	178,839
法人税、住民税及び事業税	32,017	73,690
法人税等調整額	△29,101	△7,524
法人税等合計	2,915	66,165
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88,058	112,673
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,699	△5,474
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△58,358	118,148

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△88,058	112,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71,508	△110,083
為替換算調整勘定	△38,956	△12,910
退職給付に係る調整額	1,881	13,768
持分法適用会社に対する持分相当額	△54,363	4,410
その他の包括利益合計	△19,929	△104,814
四半期包括利益	△107,988	7,858
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,145	12,145
非支配株主に係る四半期包括利益	△33,842	△4,286

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モスバーガ ー事業	その他飲食 事業	その他の事 業	計		
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	14,787,854	828,583	169,282	15,785,721	—	15,785,721
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,344	913	272,298	311,555	△311,555	—
計	14,826,198	829,496	441,581	16,097,277	△311,555	15,785,721
セグメント利益又は損失(△)	668,714	△62,539	31,330	637,505	△479,697	157,807

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△479,697千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△476,838千円を含んでおります。全社費用の主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モスバーガ ー事業	その他飲食 事業	その他の事 業	計		
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	15,307,348	889,847	172,481	16,369,677	—	16,369,677
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	39,976	1,074	294,101	335,153	△335,153	—
計	15,347,325	890,922	466,583	16,704,830	△335,153	16,369,677
セグメント利益又は損失(△)	717,111	△115,320	28,260	630,051	△515,222	114,829

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△515,222千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△515,350千円を含んでおります。全社費用の主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。